2018 年 3 月 20 日

各 位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(東証 JASDAQ スタンダード：8739)

「未来創生ファンド」
水素ステーション普及目指す
日本水素ステーション合同会社への資本参加で基本契約締結

―クリーンで持続可能なエネルギー社会実現目指す―

当社は、2015 年 11 月に設立した「未来創生ファンド」（以下「本ファンド」という）が、全国で水素ステーション普及を目指す日本水素ステーションネットワーク合同会社（以下「JHyM」という）への資本参加に関する基本契約を締結（金額は非開示）しましたので、お知らせします。JHyM は水素ステーション設立を通じ燃料電池自動車（FCV）の普及拡大に向けた環境整備を推進します。

■投資先企業の概要

JHym は、再生可能エネルギー・水素等関係閣僚会議「水素基本戦略」での水素ステーション整備推進役として、2018 年 2 月に設立されました。今回の本ファンドを含む資本参加で、JHyM 事業に参画する企業数は自動車メーカー、インフラ事業者、金融投資家等あわせて 16 社となりました。全国での水素ステーションの本格普及を目指します。（https://www.jhym.co.jp/）

■「未来創生ファンド」の概要

本ファンドはスパークス・グループ株式会社を運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた3社による総額約135億円の出資により、2015年11月より運用を開始しました。2017年12月末時点では、上記3社を加えた計20社からの出資を受けています。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に投資を行います。なお、2017年12月末時点での運用額は、367億円で米国、英国、イスラエル、そして日本の約40社に投資しています。（https://mirai.sparx.co.jp/）

■本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 経営管理部
TEL：03-6711-9100 / FAX：03-6711-9101